

＜第3回 若園地域会議 会議録＞

日 時 令和5年7月5日（水） 19:00～20:30
場 所 若園交流館 大会議室
出席者 委 員 17名
市 役 所 太田市長、後藤部長、中川室長
事 務 局 成瀬支所長、吉澤副支所長、松原副主幹、川合主査、倉地主事
オブザーバー 澤平交流館長、寺田市会議員

1 会長あいさつ＜省略＞

2 提言書の授受＜省略＞

3 市長あいさつ＜省略＞

4 提言内容説明

・パワーポイントの資料を用いて、提言内容を会長より説明

5 市長との意見交換

＜委員＞ 地域自治システムの変更により地域会議委員の役割が変わったが、市長の地域会議に対する思いを教えてほしい。

＜市長＞ 当初の仕組みづくりに関わっていた。当時は区長会やコミュニティ会議が地域の課題を解決する組織であったが、区長会は大変忙しい組織で地域だけではやりきれない状況であった。若園では防犯、若林では県営住宅の外国人問題など地域固有の問題があった。このような問題を地域会議で深掘し、課題の洗い出しをしてほしいと思っていた。地域会議が実行部隊になるとは思っていなかった。

＜委員＞ 若園地域は今後大きく様変わりしてくる。南の玄関口である若園地域が今後どのようなことになることを期待しているか教えてほしい。

＜市長＞ 人間関係の良い地域だと思うので今後も残して行って欲しい。今後中学校の部活が地域移行される。子どもたちの育てを地域で取組んでほしい。昔の寺子屋のように子どもたちが集まりお互いに助け合い、それを地域が見守るのが望ましい。若園地域は他の地域と比較して子どもたちが集まりやすい地域だと思う。自治区集会所の開放なども考えられる。

＜委員＞ 花園八橋線の全線開通で交通事故が多発し、知立市では一旦停止を増やしたが、豊田市では区画整理事業が終了するまで出来ないと言われ、登下校時の見守りをやっている。

＜市長＞ 登下校時の見守りありがとうございます。豊田市では「止まってくれてありがとう」運動に取り組んでいる。交通事故の原因としてお互いが気づかないことが挙げられ、どちらかが気づけば事故を防ぐことができる。お互いがアイコンタクトで意思確認する

ことが重要。止まってくれた車に対してありがたいの気持ちを伝えることが大切。「止まってくれてありがとう」バナーボードが交通安全防犯課に用意してあるので活用してほしい。

<委員> 花園八橋線には横断歩道や信号が無く、安全に渡ることができない。

<委員> 市より2ヶ所横断歩道を設置する計画があると聞いている。

<委員> 若林駅北側の横断歩道では豊田南高等学校の生徒が駅から出てきて道路を渡り始めると切れ間が無く渋滞が起こっている。歩行者も周りの状況を考えるべきである。

<市長> お互いが気遣い合う必要があると思う。「地域の高齢者が子どもを育てる」ということは大切なことだと思う。声掛けは子どもを対象とするだけでなく大人も含めて地域全体で行ってほしい。若園地域はまとまりがあり、取り掛かりやすい地域だと思う。

6 事務連絡

- ・地域会議の今後の予定と第2回地域会議会議録について説明

★次回開催

第4回定例会の日程: 8月16日(水)午後7時 場所: 若園交流館 大会議室